

哺乳類

国内のほとんどの哺乳類は夜行性のため、人の活動時間と重複しない。この昼間の目視調査では哺乳類を確認することは難しく、足跡、糞痕、あるいは事故物件などから生息確認をすることがほとんどで、活動する個体を目撃できることは少なかった。

以前は中型から大型の哺乳類は以前には人里にはほとんど現れなかったが、最近ではタヌキやキツネ、イノシシやシカなどの生息痕が頻繁に見られるようになっている。また、外来の哺乳類も増加して、アライグマ、ハクビシンなどが農作物の食害や人家などへの侵入が問題を起している。この調査でもゴミムシ類を捕獲するための腐肉を使ったトラップが、タヌキなどによって食べられてしまい、調査が行えなくなっている。

調査時に確認できたのは以下の9科10種であるが、調査時以外に多くの種が確認できている。都幾川ではニホンイノシシ、アナグマ、ヒミズ、トガリネズミ、休耕地ではカヤネズミ、住宅地ではクマネズミ、ハツカネズミが見られている。

夕方にはコウモリの飛翔を見ることもあり、自宅の庭にはアブラコウモリを拾得したことがあった。コウモリ類は他の種の目撃もあるが判別できていない。また、隣接している滑川町羽尾でホンドテンの交通事故個体を見たことがある。

| 調査での出現種 | | | |
|---------|------|---------------------|-----------------|
| 群No | 分類群 | 科名 | 種名 |
| 1 | 哺乳類 | アライグマ科 | アライグマ (足跡) |
| 2 | | イタチ科 | ニホンイタチ (種同定未確認) |
| 3 | | イヌ科 | ホンドキツネ |
| 4 | | | ホンダタヌキ |
| 5 | | イノシシ科 | ニホンイノシシ (足跡) |
| 6 | | ウサギ科 | ノウサギ |
| 7 | | シカ科 | ニホンジカ |
| 8 | | ジャコウネコ科 | ハクビシン |
| 9 | | ネズミ科 | アカネズミ |
| 10 | | | カヤネズミ |
| 11 | モグラ科 | モグラ科 sp (アズマモグラ未確認) | |

シカ科 ニホンジカ

最近では都幾川の河原では足跡がよく見られる。多くはないが、複数頭がいるようだった。河川に沿って下流まで行っているらしく、川島町でも河川敷で畑を作っていた人も目撃したという。



ニホンジカ



シカの足跡

ウサギ科 ノウサギ

山林内で時々出会うが、走り逃げていく音だけで、姿はあまり見えない。ところが、林に囲まれたような静かな空地には昼間から出てきて草を食べている。でも警戒心は忘れず、耳をたてて周囲を気にしている。



ノウサギ

ネズミ科 アカネズミ

山林に住む小型のネズミで、普段は見ることも難しい。



アカネズミ



ホンドキツネ

イヌ科 ホンドキツネ

昼間は姿を見ることがあまりないが、薄暗くなった頃には活動しているのを見る。畑に足跡が続くのを見ることが多い。



ホンドタヌキ

イヌ科 ホンドタヌキ

夜行性なので昼間見ることは少ないが、時々、活動している個体を目撃することもある。個体数は多いようで、河原や畑などで足跡はよく見かける。冬にはふさふさした毛と模様の無い尾が特徴。本種と同じ大きさのアライグマは尾に輪状の模様がある。昼間活動している個体は、疥癬かいせんにかかり、毛が抜け落ちて痛々しい姿のことがある。痒くて休んでもいられないのかもしれない。



ニホンイタチ

イタチ科 ニホンイタチ

川岸に沿って獲物を探している姿を見かける。時には水の中にも平気で入る。石の上に目立つように糞をして、なわばりを示している。